

## 学習成果発表会を開催しました

2月7日、本年度の学習成果を関係する皆様に公開し、本校の教育内容等を知っていただく機会の一つとして、学習成果発表会を開催しました。

会に先だち、県指導農業士連絡協議会の後藤会長から「自信をもって、伝わるように発表してください」と激励をいただきました。

発表会では、1学年生の大島さん、牧坂さん、栗谷さんの3名が農業や今後の将来について意見発表を行いました。2学年生は、海外派遣学習の報告を松田さん、先進農家派遣学習の報告を森田さん、豊住さん、加藤さん、河合さんの4名が、卒業論文の発表を長尾さん、高井さん、北折さん、牛丸さん、岩奥さんの5名が行いました。全員、堂々と発表することができました。

発表後の質疑応答では、農林高校の恩師から「現在の農業現場は、情報がたくさんある。最新機械を導入するのみで、自分がその情報を活かさなければ経営につながらない。今後につながるように頑張してほしい」と励ましの言葉を頂いて、笑顔で回答する学生の姿が印象的でした。

岐阜県農業大学校生を応援する会会長の岐阜大学前澤先生からも「農業はローテク・ハイテク、田舎・都会、農家論理・企業論理等々多様性があるが、基本は生産する現場にある。農業大学校の価値は、最も大切な基本を学ぶことにあります。自信をもって活躍してほしい」と激励の言葉をいただきました。

最後に勝山園芸指導課長より「2学年生は、これから社会人として巣立っていきます。農業大学校で学んだ体験、人間関係は貴重な財産です。1学年生は、来年度主役となります。本日の2学年生に負けないような発表ができるよう、充実した生活を送ってください」と閉会の挨拶がありました。

農業現場に関係する多くの皆様、保護者の皆様に出席いただき、暖かい雰囲気で開催することができました。学生の今年度の頑張りが実った発表会でした。



<発表及び質問に答える2学年生>